

第25號
發行所
愛知縣額田郡
幸田町中央公民館
印刷所
岡崎活版所

村から町へ

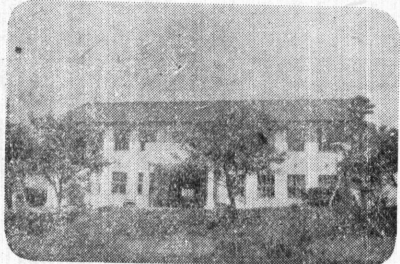
◎愛知県告示第九十三号
地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第八條の
規定に基き

額田郡幸田村を幸田町とし

昭和二十七年四月一日から施行する。
昭和二十七年三月二十日

愛知県知事 桑原幹根
（愛知県公報第三千九十一号）

右の通り、知多郡旭日町と
共に四月一日から町として発足
したので県下は十二市八十町百
二十五村となつた。
尙町制施行祝賀記念式典は来
る十一日午前十一時から、町議
会議事堂で愛知県知事桑原幹根
殿を迎えて挙行する。



幸田町役場庁舎本館

◎町制施行にあたり

初代町長 本多伴吉

幸田町の皆さま
麗かな春風に十方根山脈は霞たなび
き、廳舎前の櫻花微笑む四月一日、
輝かしい講和発効を間近に迎えて
町制施行の喜びを共に頌ちますこと
は、私の最も欣快とするところでご
ざいます。

顧みますれば、半世紀前、誓つて
国難に殉じた若人の奉公に應えて、
銃後の老幼婦女が相より相扶けて刻
苦精勵、郷土の改善に専念した明治
三十九年五月一日、耕地整理の跡麗
しい坂崎、相見、深溝三ヶ村を併せ
て広田村が誕生してから、歴代村長
各位の涙ぐましい導きの下に、終始
額田の穀倉として食糧報国に全力を
献げて有終の美をおさめた。又一方
四十二年九月停車場設置に伴い「幸
田村」と改めてからは、特に工場誘
致や街路の擴充整美等に理解ある村
民の協力を得て、幸いその撓まざる
努力が報いられ、各方面に非常な發
展を遂げましたので、茲に純情で真
面目な四十五年十一月の歴史榮あ
る幸田村に名残を告げ、獨立自主日
本復興進展の發足に当り、文化の花
開く新生幸田町として、伝統久しい
農民と、進取に富む商工者が、七対
三の比率で一田融合し良識ある町民
を培うべく教育第一を町是に、農畜

の多角経営と、富国順應の經濟進展
を企図する傍、台所の改善、部落放
送等文化生活の水準向上と相俟つて
東海に誇る廳舎と中央公民館の威容
について、今度清楚な隔離病舎、模
範的な保育園、堅実な種畜管理所の
産業厚生施設を完成して更に本町文
化交流のセンター幸田驛も電化に魁
けて年内に新装ならんとし、綜合運
動場、深溝驛の新設、広田川の改修
をも控えて、文化幸田の前途は実
に洋々たるものがあります。
然しながら尙幾多の問題が累積し
て参りますので、此の際二千二百戸
一万四千の手と手、心と心を相携え
地の利に人の和を合せて荊棘の道を
切り鑿き、ネオン目ばゆき新光のス
フ、東洋製紐のテープが、七つの海
路遙かに末広く椰子の葉蔭に薫るよ
う、至誠に仁慈を織り交じえ、共存
共榮以て平和の鐘なり止まぬ世界文
化の理想郷「明朗幸田町」の顯現に
一層の決意と精進を要する時です。
お互いに自重自愛して勉め勵みま
しょう。及ばずながら陣頭に立つて
十二分の御奉公をさせて頂きますこ
とを誓つて御挨拶を結びます。

